

日本観光振興デジタルプラットフォーム 機能紹介

2023年10月27日

日本観光振興デジタルプラットフォーム推進コンソーシアム
株式会社オープンーン 観光ビッグデータ事業部 畑中 貴之

日観振デジタルPF構築担当のオープントーンです！

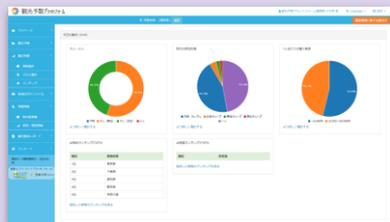
観光に関するビッグデータを活用しながら

地域の経営効率化・収益貢献

を促進するサービスを提供しています

観光予報PF

日本全国市町村の宿泊動向を見る化



宿泊データ分析システム

地域のデータを集約、地域全体の
詳細な分析を実現



かんたんチェックイン

旅館のチェックインを
顧客のスマートフォンで



とっとり宿泊予報

収集したデータを活用
半年先までの需要を予測



日本観光振興デジタルPFが目指す観光DMPの姿

～地域経営に効果的な観光DMPのための第一歩を提供～

手軽に
試せる



初期導入までの時間・コストを
かけずに
利用可能

基礎
データ
搭載



基礎的なデータは
最初から搭載
自分たちが欲しい
データが何か？を利用しながら
確認

常時
最新化



データの鮮度が保たれたい
ムリな意思決定に活用
可能

日本観光振興デジタルPFが誕生した背景

地域経営に必要な
データ基盤 (DMP)

DMP構築・運営に必要なこと

DMPの継続に関する課題

多くの観光DMP構築実証事業が実施中

DMP :
Data Management
Platform

組織内やインターネット上に蓄積された
マーケティングに有用なさまざまなデータを
一元管理できるプラットフォーム

令和5年度

観光DMP構築等業務公募型プロポーザル実施要領

- (1) 業務名
令和5年度日中市観光DMP構築等業務
- (2) 背景等
ア 世界的な評価、知名度を誇る世界遺産「厳島神社」を有する宮島をはじめ、自然・
- イ
- ウ
- エ
- 1 業務名
東北観光データマネジメントプラットフォーム構築・運用業務
- 2 目的
東北観光推進機構(以下「東観推」という。)では、これまでWeb・SNSアクセスデータ、
動態データ、アンケートデータ及びオープンデータ等を活用し、東北広域の観光マーケテ
ィング分析に取り組んできた。
しかしながら、分析にあたり各種データを個別参照することが多く、横断的なデータ分析
については、改善の余地があるとともに、分析結果の施策への具体的な活用を一層推進する
ことが必要である。
このため、東北広域で観光マーケティングデータを一元化するためのプラットフォームで
ある「東北観光データマネジメントプラットフォーム」(以下、「東北観光DMP」という。)
を構築・運用し、「データ」に裏付けされた戦略立案・プロモーション・受入環境整備等の
観光施策を展開するものである。
- 3 業務内容
東北観光DMPを構築・運用し下記の国内外の観光施策に資する業務を実施することとする。
また、東北観光DMPについては、東観推のほか、「宮城県、福島県、新潟県、山形県」(以
下、「参入自治体」という。))も活用することを前提とし、将来的には「青森県、岩手県、
秋田県、山形県や東北域内DMO等」(以下、「未参入自治体等」という。))も含めた活用へ拡
張できる仕様とすること。
なお、ターゲット国は日本、台湾、中国、タイ、韓国、香港、ベトナム、シンガポール、
マレーシア、フィリピン、インドネシア、イギリス、ドイツ、フランス、米国、オーストラ
リア、ロシアとする。

- 戦略策定、意思決定、政策の効果
検証へのデータ活用の実現
- 意思決定に多様なデータが必要
効率的に管理・運営する基盤
- 導入には初期のコスト、時間、労力が
必要

日本観光振興デジタルPFが誕生した背景

地域経営に必要な
データ基盤 (DMP)

DMP構築・運営に必要なこと

DMPの継続に関する課題

①データ収集



②データ加工・整備



③データ可視化



④継続的なデータ更新

⑤効果につながるデータ分析・活用

日本観光振興デジタルPFが誕生した背景

地域経営に必要な
データ基盤 (DMP)

DMP構築・運営に必要なこと

DMPの継続に関する課題

DMPの構築はできた、でも継続的に活用し続けるには・・・



予算の
継続

更新頻度

人材・コスト
・労力

日本観光振興デジタルPFの構想の誕生



地域の観光戦略に役立つ、観光情報を搭載したデータ管理プラットフォーム(DMP)です。

宿泊、人流、消費の多岐にわたるデータと地域が持つ観光資源や旅行者への満足度調査の結果を閲覧することができます。

ログイン

[ご利用したい方、お問い合わせはこちらから](#)



申込後すぐに
利用可能

宿泊・人流・消費の
ビッグデータも活用可能

定期的なデータ更新

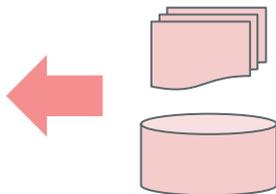
安価な利用料金



全国観光DMPと基本機能

日本観光振興デジタルプラットフォームとは？

全国観光DMP



観光統計・調査データ

(宿泊旅行統計、旅行消費額調査データ、観光入込統計、観光の実態と志向など)

観光に関するビッグデータ

(宿泊予約・人流、消費購買)

高度化地域DMP：
基本機能

全国観光DMPを利用したダッシュボード機能

- ・統計データによる月次の最新状況や推移
- ・ビッグデータによる宿泊・訪問者の属性把握、ターゲット選定に利用
- ・地域が持つ観光資源情報や注目度合いを把握

高度化地域DMP：
拡張機能

より高度な分析を可能にする拡張機能

- ・ビッグデータによるより細かい単位での分析
- ・地域独自のデータと組み合わせた専用ダッシュボード作成
- ・地域の経営の舵取り
先予約状況、需要予測、経済波及効果算出

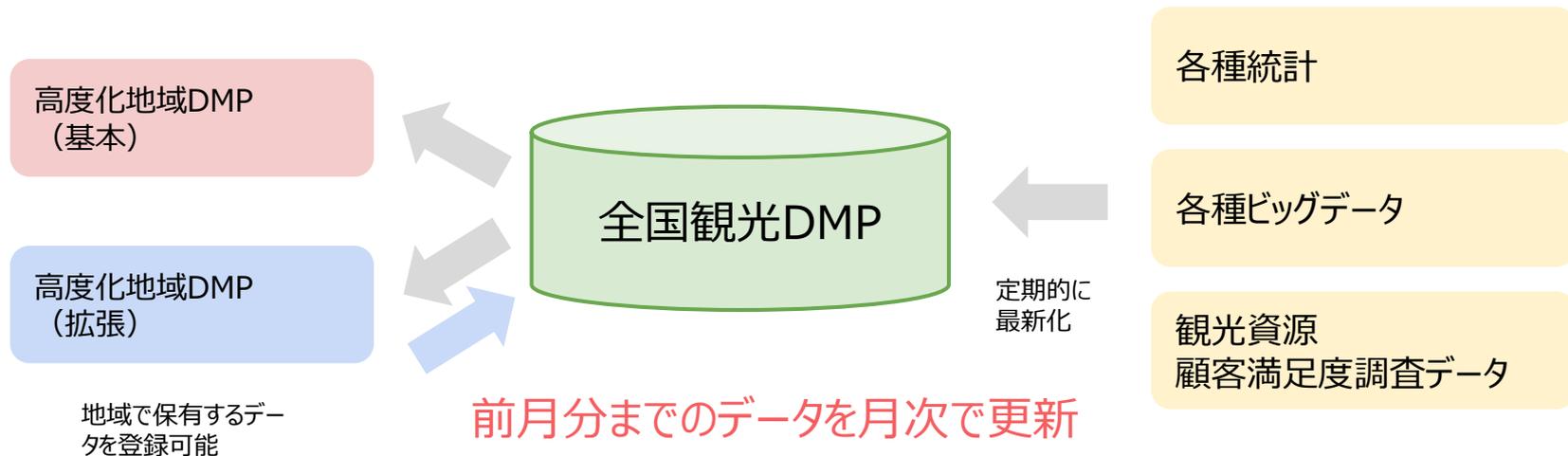
全国観光DMP

日観振デジタルPFで利用可能なデータを一元管理

各種データソースと定期的なスケジュール更新

- ・観光政策の指標となる統計情報
- ・「宿泊」「入込（人流）」「消費」の国内・インバウンドのビッグデータ
- ・全国12万件の地域の観光資源やそれらを紹介する観光情報サイトへのWebアクセスデータ
- ・顧客満足度アンケートの調査結果

等



全国観光DMP搭載データ

統計データ

宿泊旅行統計

- ・延べ宿泊者数（総数・国内居住地・国籍）
- ・定員稼働率、利用客室数

旅行・観光消費動向調査

訪日外国人統計調査

入出国数統計：出入国者数

RESAS：人口・産業

デジタル観光統計オープンデータ

（観光入込客数（国内）の統計）

ビッグデータ（観光予報PF）

宿泊：居住地・国籍別宿泊者数

年代、旅行形態、価格帯、予約タイミング

人流：国内・インバウンドの来訪者、国籍別動向

消費：キャッシュレス消費単価

観光：全国観光情報データベース（JAPAN 47 GO）

Web：JAPAN 47 GOアクセスの傾向・属性

調査データ（日本観光振興協会）

観光の実態と志向（都道府県別）

- ・宿泊観光旅行の満足度
- ・来訪回数
- ・再来訪（リピート）意向
- ・旅行先での行動
- ・旅行での費用割合
- ・利用交通手段

数字で見る観光

- ・観光レクリエーション施設数

観光基礎統計

- ・日本全体の観光動向（国内旅行、訪日旅行）

基本機能の特徴

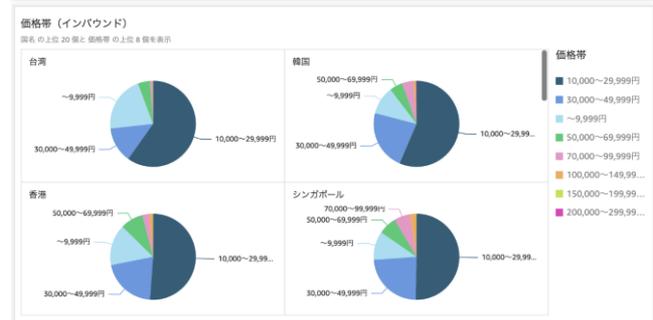
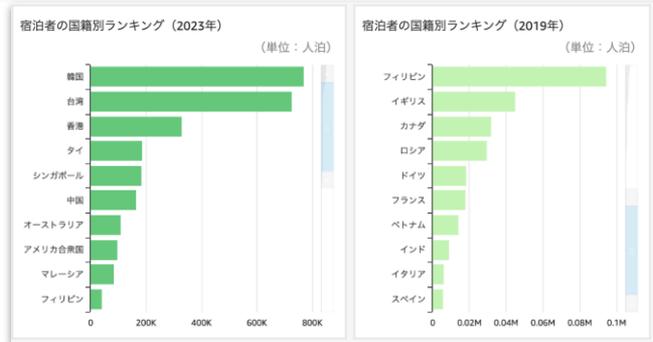
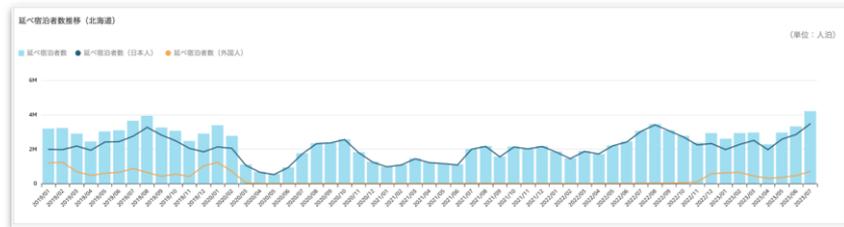
表示範囲：都道府県、市町村

表示期間：2019年～（コロナ前後比較）

居住地：国内・インバウンド両方

集計単位：月次集計がメイン

利用費用：都道府県・市町村（協会員）は無料で利用可能



4つの視点のダッシュボード

①地域の観光概況

統計やビッグデータから
地域の概況を把握、地域の特徴を掴む

②地域の観光分析

国内・海外からの来訪者の強弱や変化、
属性の把握、ターゲット選定に活用

③地域の魅力分析

地域の観光資源や受入環境、顧客満足度調査
を提供、地域の魅力を再確認

④他地域との比較

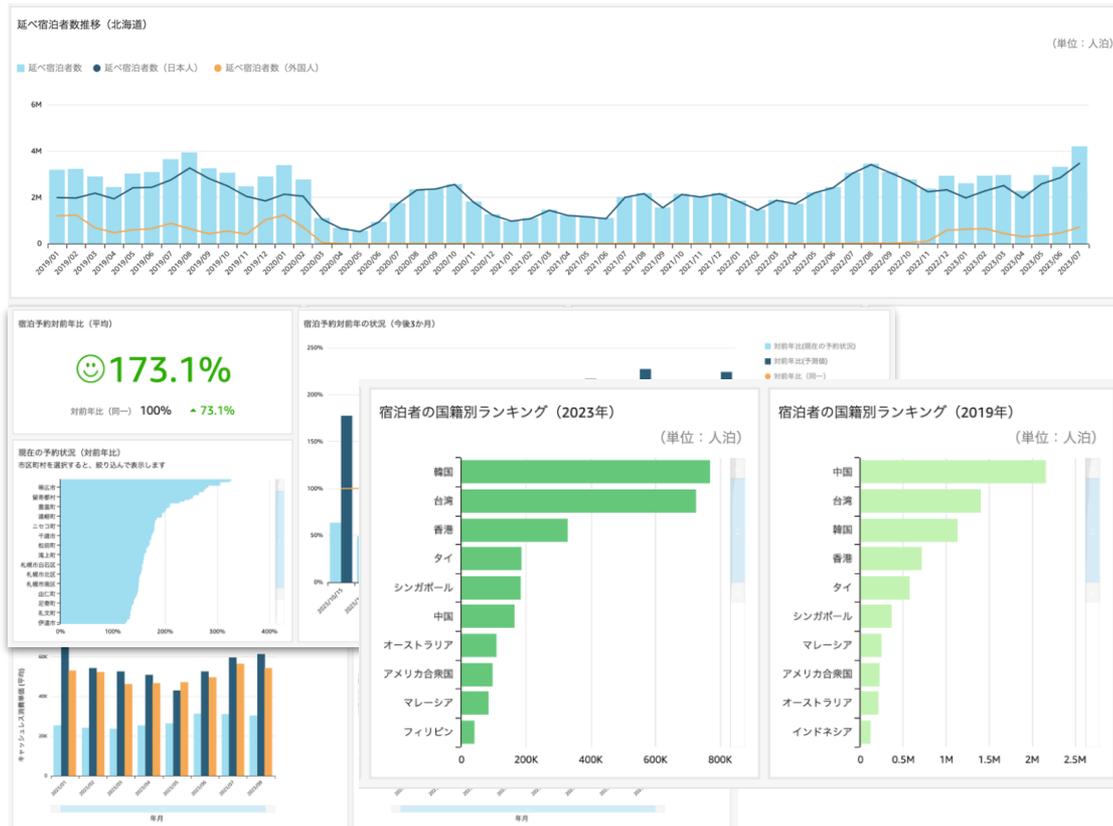
①－③のデータで地域間比較を可能に

ダッシュボード①：地域の観光概況

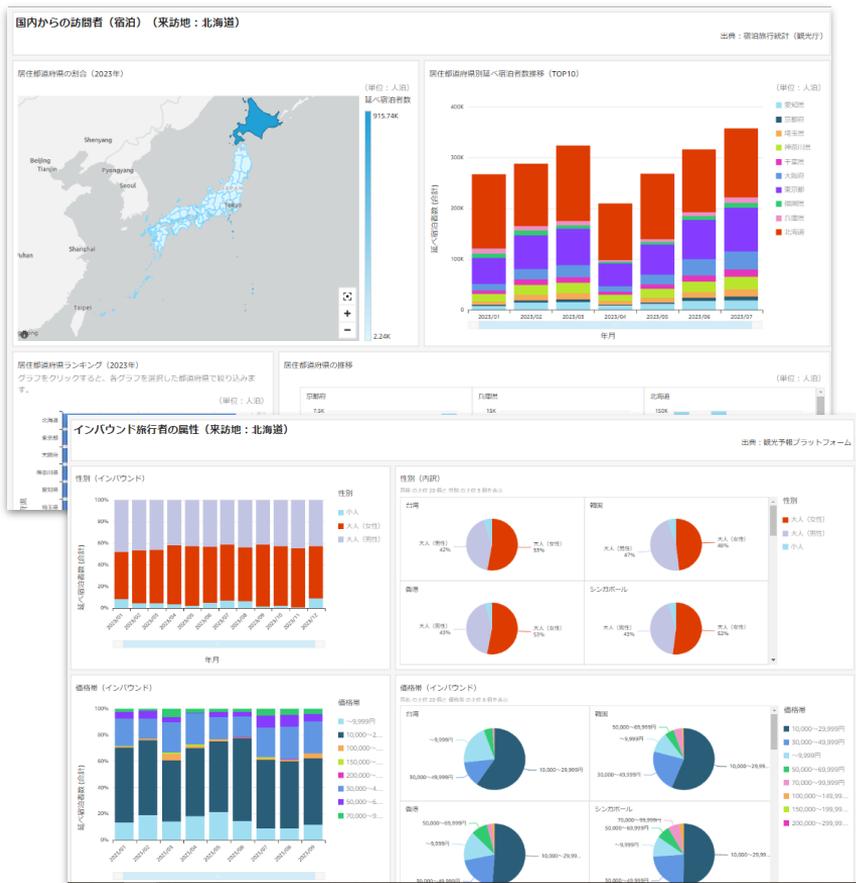
3指標の最新値と 予約状況（3ヶ月先） コロナ前後の対比

活用イメージ

- 宿泊・来訪・消費の現状把握
- コロナ前後の来訪者の居住地の変化の把握
- 今後3か月の予約状況の把握



ダッシュボード②：地域の観光分析（来訪者分析）



地域に訪れる国内・インバウンドの旅行客を把握

活用イメージ

ターゲットの選定

- どの居住地からよく訪れているか？
- どのタイミングで良く訪れているか？
- 居住地ごとの年代・性別・参加形態は？

商品・プロモーション時期の選定

- 価格帯は？
- 予約タイミングはいつ？

ダッシュボード③：地域の魅力分析

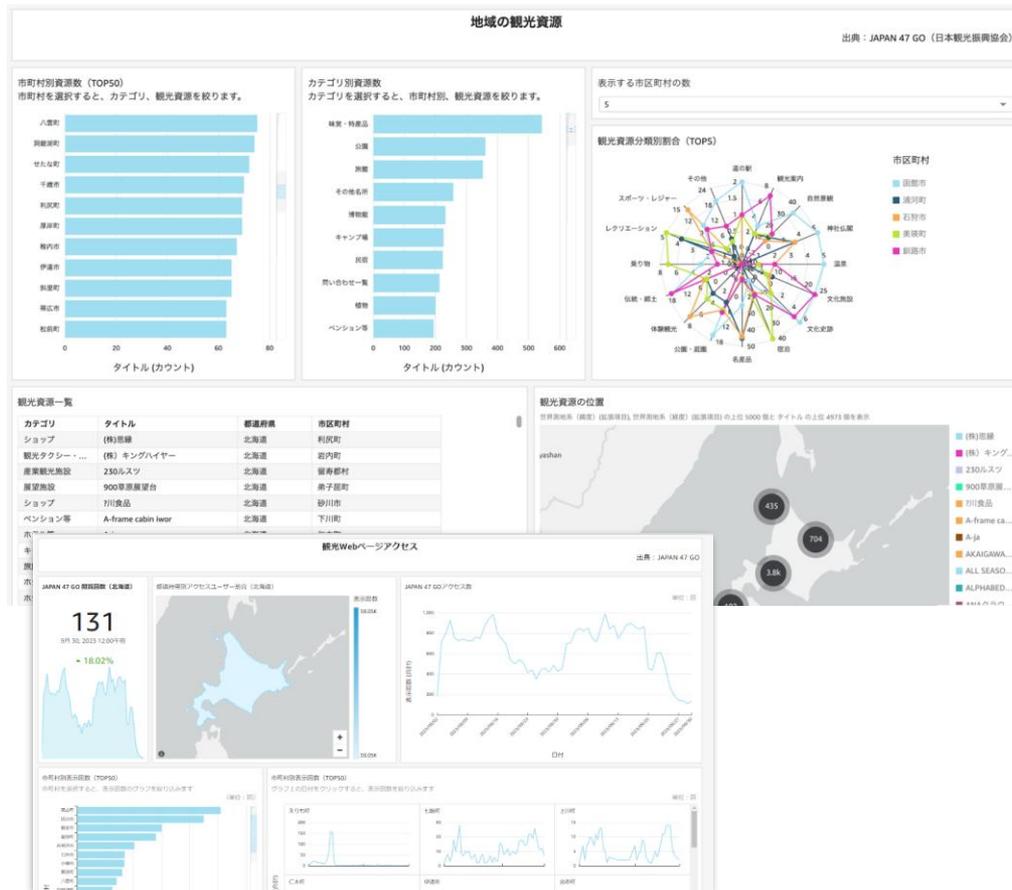
地域が保有する観光資源情報を数値化

活用イメージ

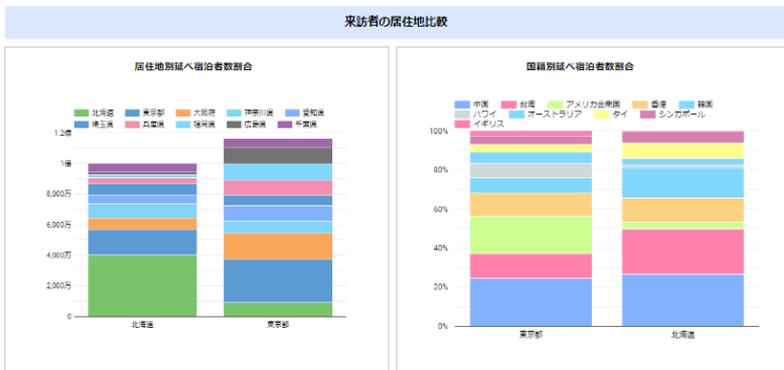
地域の観光資源の再確認

- 都道府県、市町村の観光資源の割合
- カテゴリ別の割合や地図上でどの地点に資源が集積しているか？を確認

オンライン上の関心をもとに隠れた資源の発見



ダッシュボード④：他地域との比較



他地域との比較を通じて、 自地域の位置付けを知る

主な比較項目

- 宿泊・人流：延べ宿泊者数や訪問者数を直接比較
- 居住地・国籍：居住地の違い確認
- 旅行者の属性：旅行者の特性や背景を比較
- 観光資源：地域の魅力や資源を見比べ
- アンケート結果：訪問者の意見や印象を比較

基本機能の活用イメージ

	わかること	活用例
1.概況の把握	基本的な数値、変化（宿泊者数、訪問者数、消費単価）の把握 コロナ前後の変化の把握	政策における数値目標の設定 コロナ後のターゲット検討
2.ターゲット・PR時期の検討	来訪者の居住地の強弱 年代、性別、参加形態、価格帯 予約タイミングの属性把握	旅行・訪問のPRターゲットの候補のピックアップ 施策実行後の属性変化把握
3.地域の資源・関心	自地域で保有する観光資源やカテゴリの割合はどのようになっているか？ どんな資源がよく閲覧されているか？	地域のイメージの見直し 隠れた資源の発掘、商品化
4.地域の特徴	基準地域と比較しての強み・弱み、違いは何か？	顧客属性や観光資源の違いから 自地域のPR方針・ポイントの検討



これからの拡張 (拡張機能)

拡張機能では、基本機能で賅えないニーズに対応

基本機能の特徴

集計単位は月次

表示地域は
都道府県・市町村

全国観光DMPの
データを利用

前月までの過去データが
基本

ニーズの例

日別・時間帯での訪問客の動向を知りたい

より細かい単位（例：観光スポット）で
数値、周遊を見たい

自地域で保有するデータも合わせて
分析したい

過去の分析だけでなく、将来の動きをとらえて
手を打ちたい

拡張機能

ビッグデータ
分析

地域専用
ダッシュボード

需要予測

①ビッグデータ分析

よりポイントを絞った分析へ

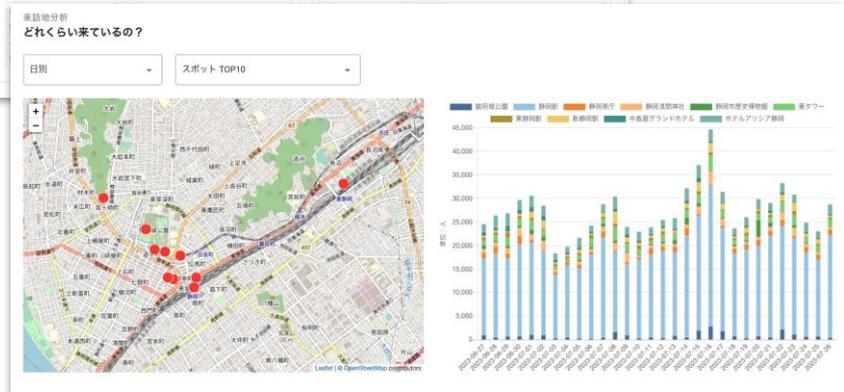
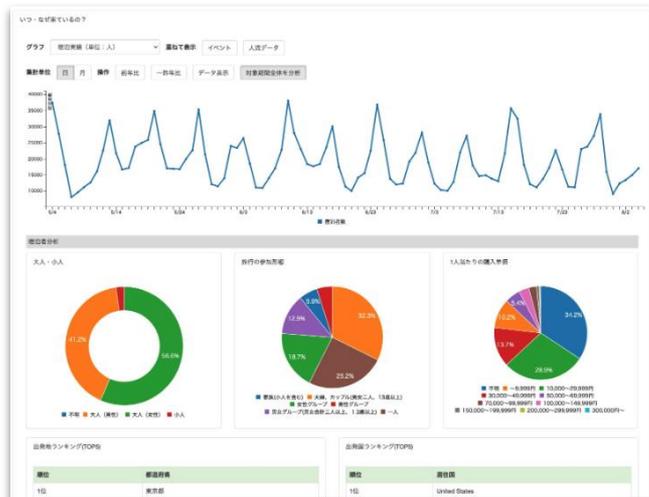
月次→日次→時間帯へ
都道府県→市町村→スポット単位へ

(宿泊)

- 1日単位
- 市町村
- 宿泊者総数、各属性別の宿泊者数
- 居住地別の宿泊者数

(人流)

- 1日単位、時間帯
- 市区町村別・スポット別の訪問者数
- 居住地、国籍別訪問者数推移
- 特定スポットの前後周遊分析



②地域専用ダッシュボード

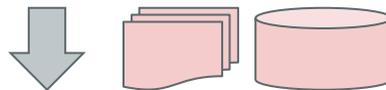
地域保有のデータも登録、 地域専用の分析環境を提供

- 全国観光DMP + 自地域のデータで
専用ダッシュボードの構築
- 構築したダッシュボードをPF上で共有

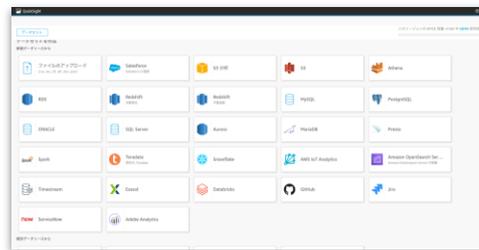
日観振デジタルPF上の専用ページで閲覧



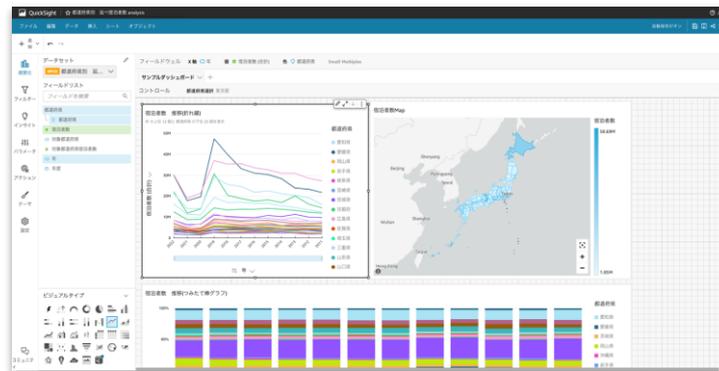
地域の統計・アンケートデータなど蓄積したデータを投入



ファイルをアップロードに加えて、多様なデータ連携が可能



地域専用の分析ダッシュボード作成



③需要予測

予約・予測状況を見て、 先の一手を打つ

- 先予約状況の集計、提出
- 属性ごとの予約状況の把握
- 予約の入り具合に応じた予測情報の提供

1か月後、3か月後の地域の予約状況
を提供

人数だけでなく、予約者の属性割合な
ども提示。

先予約レポ
ート
(PDF)



2Wに1回データ更新



予約状況の算出

宿泊者数予測

昨年に比べてどの程度予約が
伸びているか？
予約の属性の割合推移は？

過去実績から最終的にどの程
度まで伸びそうか予測



予約状況やどこまで伸びるかの予測を載せたレポート



④効果測定

イベント・政策の効果を数値化・見える化

宿泊者数・訪問者数で経済波及効果を算出

- ・都道府県で公開されている産業連関表を利用
- ・地域内への経済波及効果を簡易的に算出
- ・特定のイベントや年間を通じた宿泊・観光の訪問による経済波及効果の算出を可能に

経済波及効果の算出結果のグラフ・金額詳細

新規消費額	直接効果	第一次波及効果	直接効果 + 第一次波及効果
10,500,004円	4,187,579円	1,105,336円	5,292,915円
市外消費額等		市内消費額	
924,985円	638,762円	1,563,747円	
直接効果	第一次波及効果	第二次波及効果	生産額増効果
4,187,579円	1,105,336円	777,601円	6,070,516円
カテゴリー	直接効果	第一次波及効果	
総生産	35,123円	43,972円	
畜産	0円	37,455円	
農業サービス	0円	7,682円	
林業	0円	3,951円	
漁業	49,337円	25,022円	

出典：下呂市版経済波及効果算定システム（国内地域間取引考慮）



産業連関表

経済波及効果の算出

人数や単価をもとに計算

← 効果測定に戻る

人数をもとに算出 | 金額をもとに算出

算出目的 **必須**

イベント・観光の波及効果算出

建築投資の波及効果算出

計算の元となる人数を入力してください **必須**

日帰り人数 人 | 日帰り単価 円

宿泊者数 人 | 宿泊単価 円

説明欄 **任意**

計算する

- ①地域の標準的なDMPとして継続的に利用できる環境を提供
- ②統計、ビッグデータ、各種調査データとバランスよくデータを利用
- ③都道府県・市町村（協会員）は基本機能を無料で提供
- ④2023年11月以降、利用申込受付開始

観光予報PF推進協議会のブースでも、ご覧になれます
TS-005（6号館B）

